

## SPring-8運転スケジュールについて

日本原子力研究所・理化学研究所  
大型放射光施設計画推進共同チーム  
計画管理グループ

10月の供用開始後のSPring-8運転スケジュールは以下のとおりです。

### 1. 長期運転スケジュール

- (1) 平成10年3月末までの運転スケジュールを図1に示します。
- (2) 運転は2週間1サイクルを基本とした連続運転を行います。ただし、第12サイクル(12月3日～19日)は3週間1サイクルの運転とします。
- (3) 長期運転停止期間  
本年末から来年2月中旬までを冬期長期停止期間とし、ビームラインの据付工事、挿入装置設置工事、マシンメンテナンス等を実施します。来年2月9日～2月15日までは立ち上げ調整及び総合調整期間とします。ただし線型加速器については2月2日から、シンクロトロンについては2月4日から立ち上げ操作を開始します。
- (4) 長期停止後の年明けから新たなサイクルNo.とし、第1サイクルから運転を開始します。
- (5) 原則として本長期運転スケジュールは変更しません。やむを得ない事情により変更する場合は、概ね月1回開催される予定の、関係者による「スケジュール会議」で検討・調整して決定されます。

### 2. 1サイクルあたりの運転スケジュール

- (1) 1サイクルあたりの運転スケジュール(2週間モード)を図2に示します。
- (2) 時間配分  
第1週月曜日はマシンメンテナンス、施設定期点検、起動前点検等を実施します。  
第1週火曜日(場合によっては月曜日)の夕方から線型加速器、シンクロトロン等のエージングを開始します。

第1週水曜日午前9時から各機器の立ち上げ操作を開始し、電子ビーム入射を行います。その後電子ビーム調整、マシンスタディ等を行います。この間に、施設者側でのビームライン調整(含む立ち上げ調整)を平行して実施します。利用者への放射光利用実験時間(ビームタイム)は、当面第1週金曜日午後3時から第2週金曜日午後3時までの168時間(21シフト)とします。本時間配分はマシンスタディの進捗等、種々の条件によって多少時間が前後することがあります(ビームタイム時間数は極力変えない予定です)。

### 3. 運転モード

- (1) 詳細な運転モードの決定  
蓄積電流値やシングルバンチ運転等の詳細な運転モードは、原則として各サイクル開始前(必要に応じ運転日毎朝)に開催される、関係者による「スケジュール調整会議」で検討・決定することとします。なお、決定した内容は利用促進部門からすみやかに周知します。
- (2) サイクル途中での運転モード変更  
原則として、サイクル期間中は決定した運転モードの変更は行いません。やむを得ない事情により運転モードを変更しなければならない事態が生じた場合は、直ちに「スケジュール調整会議」を開催して検討・決定します。決定内容は利用促進部門からすみやかに周知します。

### 4. 本運転スケジュールの変更について

- (1) 予期せぬ事態、運転環境の変更等に伴い、運転スケジュールを見直し、あるいは変更せざるを

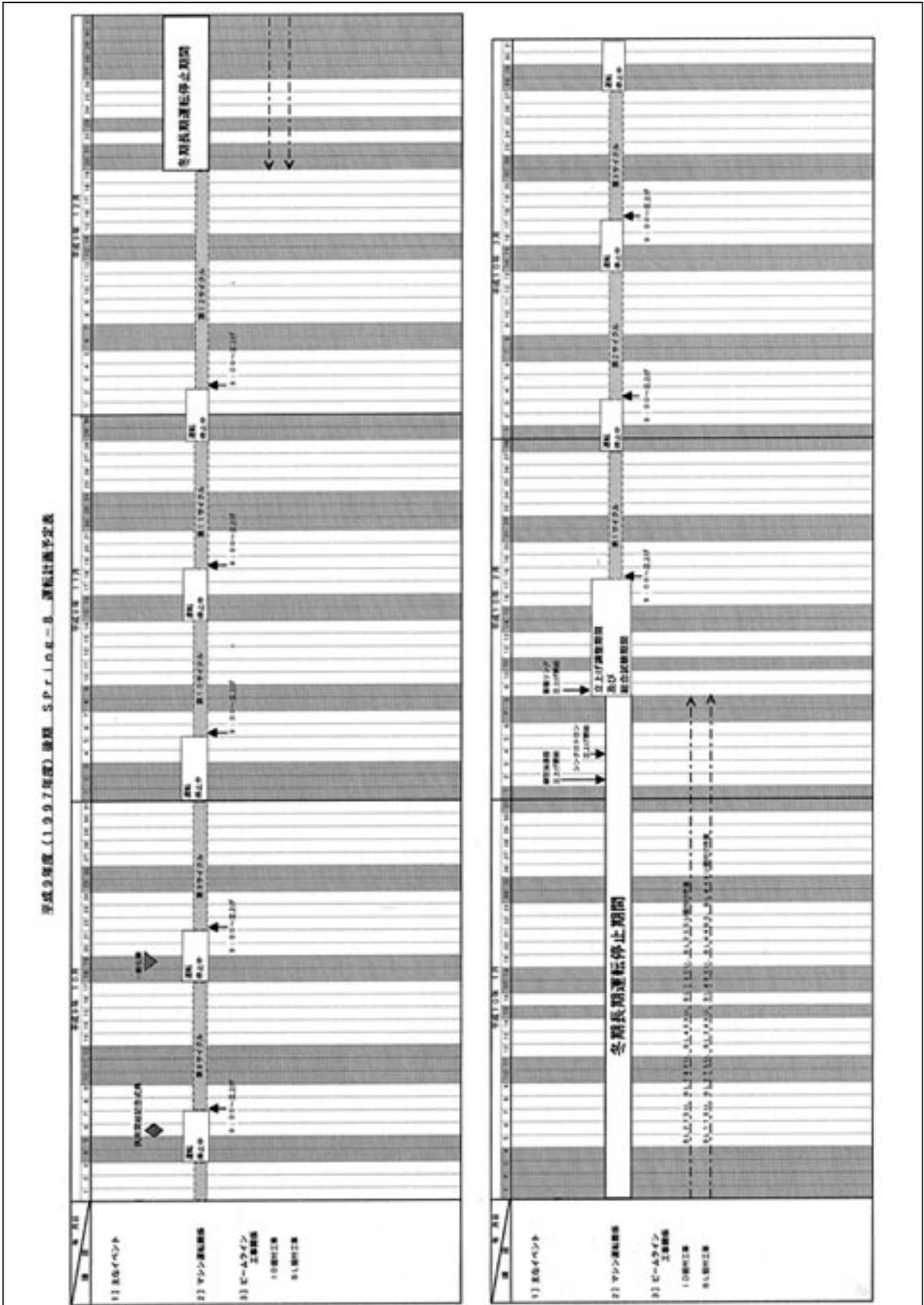


図1

得ない場合、直ちに「スケジュール調整会議」で検討し、機器の運転停止、継続、スケジュール見直し等を判断します。

(2) スケジュールの変更により、割り当てのビームタイムが無くなるユーザーへの代替処置は、原則として行いません。

本件問合せ先

- ・ JASRI放射光研究所・利用促進部門  
植木 龍夫 (07915-8-2751)
- ・ 共同チーム  
計画管理グループ (07915-8-0866)

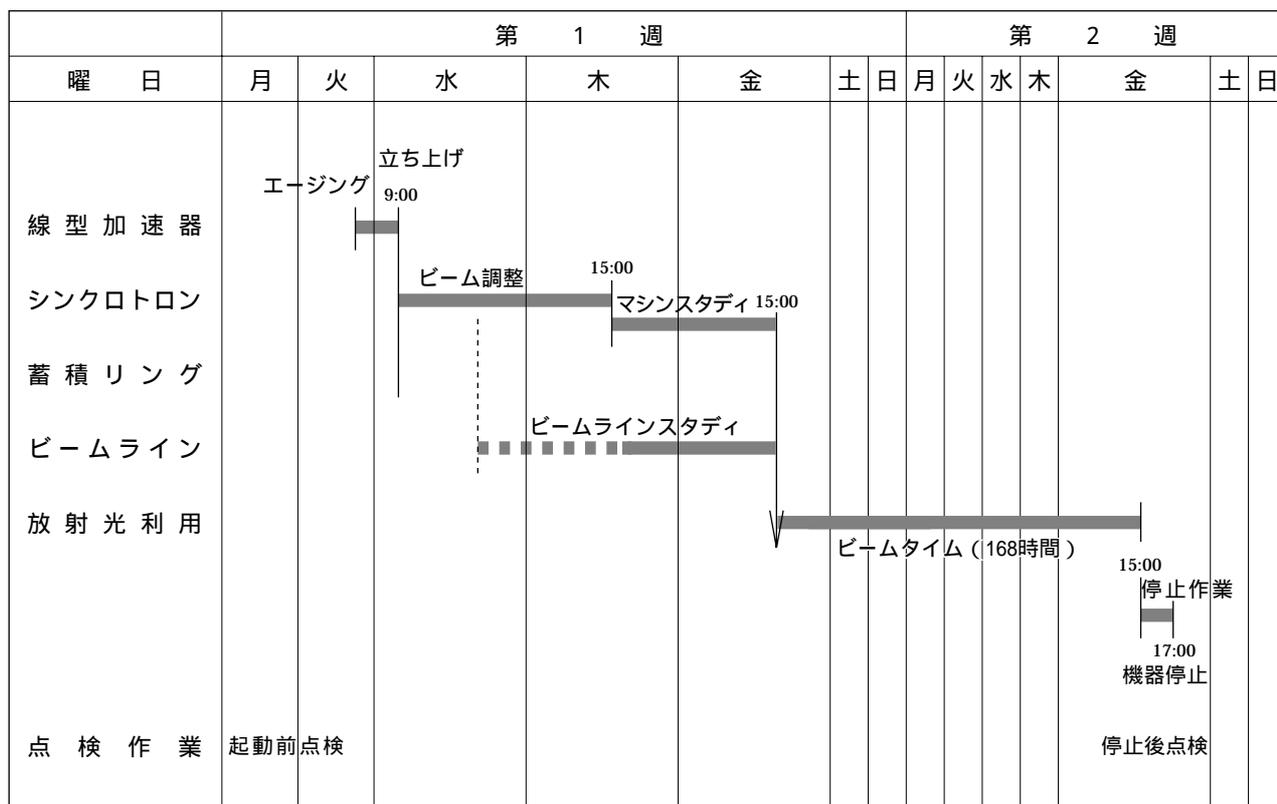


図2 運転タイムスケジュール【2週間モード】